

## 講演会のお知らせ

# 「ナディア・ムラド(2018年ノーベル平和賞)の *The Last Girl*を翻訳する」

講師: 吉井 智津氏(翻訳家)

日時: 2019年1月12日(土) 午前11時~12時

場所: 神戸市外国語大学第2学舎2階505教室



本学英米学科卒業生の翻訳家、吉井智津氏が2018年度ノーベル平和賞を受賞したナディア・ムラド氏の自伝 *The Last Girl* の翻訳書『THE LAST GIRL—イスラム国に囚われ、闘い続ける女性の物語—』(東洋館出版社)を、11月30日に出版されました。

イスラム国に両親を殺され、自らも性奴隷として壮絶な苦しみを受けた経験から、戦時下の性暴力根絶を訴え続けるムラド氏の自伝。その翻訳に至る経緯や翻訳上の工夫、翻訳を通して得た感動などを吉井氏にお話しいただき、参加者との質疑応答を通して、翻訳行為の実践と意義を深く掘り下げて考える貴重な機会です。

講演会には外大教員、学生に加え、一般の方も参加していただけます(参加費無料)。定員は学生30名、教員10名、一般10名です。参加希望の方は以下のメールアドレス宛てお名前と連絡先をご記入の上、メールでお申し込みください。折り返しお返事を差し上げます。先着順で定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。当日の受付開始は10時30分です。

吉井 智津氏プロフィール: 翻訳家。神戸市外国語大学英米学科卒業。訳書に『小さなモネーアイリス・グレース—自閉症の少女と子猫の奇跡』(辰巳出版)、『インビジブル・インフルエンス 決断させる力』『こじれた仲の処方箋』(ともに東洋館出版社)ほか多数。

お問い合わせ先: 神戸市外国語大学文学翻訳研究会 (email: kcufs.trans@gmail.com)